



Subaru

男声合唱団

ニュース№518 '15. 8. 22

## コンサート第一部の通しレッスン

8月21日

□8月21（金）は、奥村さんの体操と千秋さんのヴォイストレーニングに始まり、今日は、コンサート第一部の曲を通しレッスンするということで、「春を待つ」、「淀川三十石舟唄」、「初心のうた」を本並先生指揮で、連絡休憩をはさんで、「林道人夫」、「ゆらゆら春」（ソロは臨時に古谷さんで）「死んだ男の残したものは」を伊藤副指揮者の指揮でレッスンを受けました。ピアノは森さん、参加は全31名でした。



### レッスン一覧メモ

□「春を待つ」の「ぱっと夢が咲く」；「ぱっと」に情景、心象を統一した思いをこめ、この曲のなかでも際立ったハイライトを置く。

□全曲；はなし言葉のアクセントどおりの歌い方をする。音程の高い音にアクセントを置きがちだが、聞く方には不自然に聞こえる歌詞がある、何度も具体的な指導があるので注意して歌う。

□ヴォイストレーニングでの指導通り、横隔膜の下、下半身でうたう、息は腰の下へ、さらに下へ下へ。声帯は亜矢子先生の指導にあるように、弓を引くように、頭の後ろに引っ張る。口は縦に、平べったくならないよう、これも、毎回の指導通りに。

### コンサートチケット拡大いよいよ始まる！

□10thコンサートのチケット係の山本力さんから、配布の「チケットの取り扱い」（4ページ）について説明がありました。

□第一回抽選会を9月18日(金)定例レッスン時に行います。この日に参加できない団員は、代役を立ててください。（チケット係の山本さんあるいは岡邑さんに依頼しても可）

□前回のチケット拡大には約4か月かかっています。9月18日をスタートにみなさん拡大に入ってください。拡大目標のアンケートを行います。

□全席指定ですので、席ごとに個人名(取扱い団員名と来客名)で管理します。これには抽選時の封筒を用います。

□入金はなるべく一括前納で。集金は各団員で。

山本邦久さんの手記



### 橋本さんの記事転載

#### しんぶん 赤 旗

2015年8月22日（土曜日）

## 読者の広場

岡山・備前市  
古松 国昭（70歳）  
7月26日付で、橋本邦

挑戦し続けた

橋本さんは、1966年、松下電工の思想差別による不当な解雇をうけました。「守る会」と本人の頑張りで、10年半に及

た時の訴報でした。橋本さんは、1966年、松下電工の思想差別による不当な解雇をうけました。「守る会」と本人たたかいで頑張ります。

久さんの訃報を知りました。同じ松下グループで頑張った先輩で、私の人生で大変元気と勇気をもらった人です。

橋本さんは中山惟行さんとの共著『松下王国の神話青春をかけた挑戦』を、関西合唱団の一員としてミュージカル公演をして回っています。改めて読み直してい

た。裁判も全面勝利、職場復帰を勝ち取りました。

橋本さんのたたかいは反共・思想差別とたかう全国の労働者を励ました。70、80年代に入

って、日立製作所、松下電器、沖電気、安川電機

などの電機産業の争議が起こり、そのたたかいは

いざれも勝利しました。

今、憲法違反の戦争法案を廃案に、憲法違反のやめよど、運動に取り組んでいます。橋本さん

うたう我々の「春が来るのはまだ遠い」「夢」とは、冬日の、つかの間の晴れ間を思わせるあたたかなサウンドが、終始曲を彩る。「真白い雪の山越えて」来る春に寄り添うようにして咲く作詞者伊藤整の「夢」とは、「一体何なのだろうか。……あるコンサートの解説文から（岡邑さん提供）、（写真は山本力さん提供）

「春を待つ」